

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 平成23年9月29日(木) 6校時  
児 童 男子7名 女子9名 計16名  
指導者 瀬川 貴光

### 1 単元名(教材名)

説明のしかたについて考えよう(アップとルーズで伝える) 光村図書 下 P.30~P.37

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまでに説明的文章では、3年生の教材「すがたをかえる大豆」で「始め」「中」「終わり」の文章構成に着目しながらの学習を行った。その中で、中心語句をとらえ、段落のつながりに注意しながら読むことができるようになってきた。4年生教材「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」の学習では、事実と筆者の考えを読み分け、段落どうしの関係を考えながら読み進めた。これらの学習により、中心文を見つけ、段落どうしのつながりをとらえることができるようになり、筆者の主張に対する自分の考えを明確に持てるようになった。また、双括形(結論→理由→結論)で書かれた文章形態の学習を通して、自分の考えを述べる文章構造の良さや、文章に合わせた図を用いることの良さについて理解できるようになってきた。

しかし、本学級の児童の半数は、文章に書かれている内容は理解できているものの、文と文の繋がりや文章全体の構造を正しく理解しているとは言い難い。また、児童の中には中心文のとらえ方が曖昧だったり、段落どうしのつながり方がしっかりと理解できていない児童も見られる。

#### (2) 主たる指導事項

学習指導要領第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の目標は、「(3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。説明文、「アップとルーズで伝える」の主な指導事項は「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」(読イ)である。

本単元の「説明のしかたについて考えよう」では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえる学習を行っていく。始めにそれぞれの写真を説明する段落を見つけ、写真と説明が対応関係にあることを学ばせる。さらに、段落どうしが対比関係になっているだけでなく、同じ段落の中でも対比が用いられていることに気付かせていく。そのうえで、段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えさせる。

第四学年では、段落相互の関係を考える学習を繰り返していく。本単元は、段落の対比関係について学習する第一歩である。単に写真と文章の対応だけでなく、対比して述べられていることや、写真から読み取れることが文章で描写されていることなどを意識させる必要がある。

#### (3) 指導にあたって

本単元の言語活動は「説明の文章を読み、説明の工夫について考えてまとめる」である。本単元を通して、接続語や文末表現に意識を向けさせ、読み手にとって分かりやすい説明とはどのようなものであるかを考えさせたい。また、対比して述べることで、二つのものの違いがはっきりすることに気付かせ、教材の読み取りに生かすとともに、日常の中で自分が説明する際にも使うことができるという意識を持たせたい。

第一次のつかむでは、これまでの説明文の形を振り返り、「動いて、考えて、また動く」の学習と同様に筆者の説明の工夫、分かりやすい説明の仕方について学ぶという意識を高めていく。

第二次の読み取りの段階では接続語や指示語、文末表現を手掛かりに中心文をとらえさせ、筆者の説明の工夫や写真の効果的な使われ方にも気付かせたい。さらに、児童の自由な意見交流の場から、友達の考えを取り入れさせたり、自分の考えをより明確なものにさせたりしていきたい。

読み取りの際には、まず中心文を見つけ出し、それを具体的に表現している文章を確認することで、段落相互の関係を考えながら読み進められるようにしたい。読み取りの力について個人差が大きいため、読み取りの手助けとなるよう学習シートを使用し、一人一人の読みを確かなものにしていきたい。

第三次では、第二次までの内容の読み取りを生かし、自らが選択した新聞や雑誌の記事について、記事と写真を使い分ける良さや、作り手の意図を文章にまとめ交流させたい。

### 3 単元の目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
  - ・写真と文章を対応させたり、文章を対比させたりしながら、説明的文章に興味を持って読もうとする。
- (2) 読むこと
  - ・写真と文章を対応させて読み、文章全体における段落の役割について考え、筆者の説明の工夫を見つけたりすることができる。(1)イ
- (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
  - ・文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続語の役割を理解することができる。(1)イ(ク)

### 4 単元の評価規準 (B)

- (1) 国語への関心・意欲・態度
  - ・写真と文章を対応させたり、文章を対比させたりしながら、説明的文章に興味を持って読もうとしている。
- (2) 読む能力
  - ・写真と本文の対応や対比された文章構成から、段落の関係と筆者の説明の工夫を理解している。
  - ・対比・類比・補足・例示等、本文の内容と内容の関係のいくつかを理解している。
- (3) 言語についての知識・理解・技能
  - ・典型的な接続表現の意味を理解している。

### 5 学習指導計画 (読むこと 8時間 全8時間)

| 段階       | 学習課題  | 学習活動 (時間)  | 評価規準 (B)   |
|----------|---|--|--|
| つかむ      | ・説明のしかたについて考えよう。                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの説明文の学習を振り返り段落構成について確認する。</li> <li>・学習の見通しを持ち活動に意欲を持つ。</li> <li>・全文を読み、筆者の説明の仕方の工夫に関心を持つとともに、「上手な説明の仕方を見つけよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。(1時間)</li> </ul> | 【関】説明文の書き方に興味を持ち、進んでこれまでの学習を振り返って、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴を見つけようとしている。(発言・観察)   |
| とらえ・ふかめる | ・写真と文章の対応を考えながら読み、第三段落までの文の組み立てと筆者の説明の工夫を見つけよう。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落相互の関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。</li> <li>・写真と文章との対応を考える。</li> <li>・第三段落と第一・二段落の関係を考える。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(1時間)</p>             | 【読イ】第三段落までの文章の中で、筆者の説明の工夫を見つけている。(観察・ノート)<br>【読イ】写真と文章を対応させながら読み、第一段落から第三段落までの関係をつかんで、「アップ」と「ルーズ」という言葉の意味を理解している。(観察・発言) |

|          |  |  |   |
|----------|--|--|---|
| とらえ・ふかめる | <ul style="list-style-type: none"> <li>写真と文章の対応や段落相互の対比を考えながら読み、第六段落までの文の組み立ての中で筆者の説明の工夫を見つけよう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>段落相互の関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。</li> <li>写真と文章との対応を考える。</li> <li>第六段落と第四・五段落の関係を考える。(1時間) 本時</li> </ul> | <p>【読イ】 写真と文章を対応させながら読み、第四段落から第六段落までの関係をつかんで、「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を理解している。<br/>(観察・発言)</p> <p>【読イ】 第六段落までの文章の中で、筆者の説明の工夫を見つけている。(観察・ワークシート)</p> |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>第七・八段落の内容を読み取り、段落の役割を考えよう。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>第七・八段落を読み、その役割について考える。(1時間)</li> </ul>  | <p>【読イ】 第七・八段落を読み、説明の工夫を見つけている。<br/>(ワークシート)</p> <p>【読イ】 「アップ」と「ルーズ」が目的によって使い分けられていることを理解するとともに、第七・八段落の、ほかの段落との関係をとらえている。<br/>(発言・観察)</p>   |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を読み返し、全体を通しての段落の役割を考えよう。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体を読み返して段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかむ。<br/>(2時間)</li> </ul>   | <p>【読イ】 段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。<br/>(ノート・ワークシート)</p>  |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>説明の仕方や、説明の工夫について考えよう。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>全文を読み、筆者の用いている説明の工夫についてまとめる。(1時間)</li> </ul>  | <p>【読イ】 写真と文章の対応関係や段落相互の関係、全体構成などを改めてとらえ直し、説明の工夫について考えている。<br/>(ノート・ワークシート)</p>   |
| つかう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのもののアップとルーズの使われ方から、そのよさを考えよう。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビや新聞、雑誌などに取り上げられている文章に適した写真を選び、理由付けをしながらよさを交流し合う。</li> <li>学習を振り返り、まとめる。<br/>(1時間)</li> </ul>         | <p>【読イ】 テレビや新聞、雑誌などから、「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見つけ、使われている文章とそれに対応した写真が使われている意図やそのよさについて自分なりの理由付けを考えている。<br/>(ワークシート・発言)</p>                         |

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を読み取り、写真と文章の対応や段落相互の対比から、筆者の説明の仕方の工夫についてまとめることができる。

(2) 展開

| 段階   | 学習活動  | 時間  | 指導上の留意点・評価   |
|------|---|-----|--|
| つかむ  | 1 前時の学習を想起する。<br>2 本時の学習課題を確認する。<br>④⑤⑥段落の筆者の説明の工夫をみつけよう。   | 5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時が問いかけの文で終わっていたこと、「アップ」と「ルーズ」の違いについて考えていきながら、筆者の説明の工夫を見つけることを確認する。</li> </ul>   |
| ふかめる | 3 第四段落から第六段落までを音読する。<br>・写真と文の関係を考えながら第四段落から第六段落までを各自が音読する。<br>4 学習課題を解決する。<br>(1) 第④段落「アップ」と第⑤段落「ルーズ」、第⑥段落の中心文をとらえる。<br>(2) 第④段落「アップ」と第⑤段落「ルーズ」の「よく分かること」は何か文から見つけ、写真と対応させる。<br>(3) それぞれの段落の「よく分からないこと」はどんなことか見つけまとめる。<br>(4) 第④段落と第⑤段落の関係までを詳しく読んで見つけた「上手な説明の仕方」をメモとしてまとめる。<br>(5) 第④⑤⑥段落の関係を図に表し、⑥段落の工夫点を見つけメモとしてまとめる。 | 35分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動いて、考えて、また動く」の文章と同様に写真と文章があることによって説明が分かりやすくなっていることに気付かせる。</li> </ul> <p>〈工夫①〉<br/> <u>記述に即して考えを持たせる工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの段落の中心となる一文にサイドラインを引かせ、どちらの段落にも中心文があることを意識させる。</li> <li>・それぞれの段落の「よく分かること」が書いてある文を赤線で囲み対比的な書かれ方をしていることをみつけさせる。</li> <li>・「よく分からない」ことが書かれている文を青線で囲み、写真との対応を考える</li> </ul> <p>〈工夫②〉<br/> <u>自分の考えを表現する場の工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの段落を見比べさせながら、段落どうしの構成や写真との対比関係を見つけさせ、自分の言葉として表現させる。</li> </ul> <p>評上手な説明の仕方として、どのような書かれ方をしているのか、自分の言葉でまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続語「このように」に着目させて筆者の工夫をまとめさせる。</li> </ul> |
| まとめる | 5 本時の学習を振り返る。<br>6 次の学習内容を知る。   | 5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートで自己評価させる。</li> <li>・次の時間は第七・八段落を読み取りその役割を考えることを知らせる。</li> </ul>  |

(3) 具体的評価規準

- A 「アップ」と「ルーズ」の長所と短所について書きまとめ、接続語の役割や段落相互の対比関係に関連付けて筆者の説明の工夫をまとめている。
- B 「アップ」と「ルーズ」の長所と短所についてまとめ、段落相互の対比関係から筆者の説明の工夫についてまとめている。


努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

中心文や接続語、文末表現に着目させ、文章と写真の対応や対比している段落を見つけることができるようにする。


7 板書計画

④ アップで分かることと分からないことがある。

⑤ ルーズで分かることと分からないことがある。



⑤ ルーズ



④ アップ

中心文

⇒

細かい部分の様子がよく分かる

⇔

広いはんいの様子がよく分かる

・ あちこちでふられる旗、たれまく、立ち上がっている観客とそれに向かつて手を挙げる選手たち。一体となって勝利を喜びあっている。

・ ゴールを決めた選手が両手を広げて走っている。  
・ ユニホームが風をはらむ  
・ 口を大きくあける。  
・ 全身で喜びを表しながら走る様子。

○ 上手な説明の仕方

- ・ 写真と文章を対応させて書いているから分かりやすい。
- ・ 段落の中で「伝えられること」と「つたえられないこと」が接続語でつなげて書かれていて分かりやすい。
- ・ ④段落と⑤段落に具体的な事が書いていて分かりやすい。
- ・ ④段落と⑤段落の説明が同じような順で書かれていて分かりやすい。
- ・ ⑥段落で、「このように」とまとめているから分かりやすい。

でも

- ・ 各選手の顔つきや視線、それらから感じられる気持ち

しかし

- ・ 相手選手の様子
- ・ それぞれの応援席の様子
- ・ 走っている選手以外の多くのこと

アップとルーズで伝える      中谷 日出

④⑤⑥段落の筆者の説明の工夫をみつけよう。

〈伝えられること〉

〈伝えられないこと〉